

第8回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会

2017年5月13日（土）～14日（日）

@サンポートホール高松、高松シンボルタワー、JR ホテルクレメント高松

プレコングレスワークショップ 8	
企画名	これだけでできれば大丈夫！ プライマリ・ケアに必要なポイント・オブ・ケア超音波【発展編】
日時	2017年5月12日（金） 13:20～14:50
会場	第5会場 （サンポートホール高松 ホール棟 7F 第1リハーサル室）
企画責任者	瀬良 誠（福井県立病院 救命救急センター）
定員	28名
開催の目的・概要	
<p>【開催の目的】</p> <p>ポータブル超音波装置の性能の向上により、小型軽量化、画質向上が進み、救急室や集中治療室のみならずプライマリ・ケアや在宅医療の現場でも超音波の果たす役割は非常に大きくなっています。明日からの診療の一助になれば幸いです。</p> <p>【概要】</p> <p>近年ポイント・オブ・ケア超音波（POCUS）は臨床面と教育面からその有用性が認識され始め、急速な広がりをみせています。</p> <p>POCUSは安全、低コストであり、ベッドサイドですぐに利用でき（在宅でも！）、患者の診療方針決定や処置をタイムリーに行うことが可能です。（良いことづくめ！）気胸の診断にレントゲン撮影していませんか？</p> <p>高齢者の急性腹症で困ったことはありませんか？あるいはショック状態の患者を前に呆然とした経験ありませんか？心・肺・血管・腎・筋・骨・眼球など超音波で診ることができるものはたくさんあります。</p> <p>今回は発展編としてショック患者に対応するためのPOCUSを行います。</p> <p>ショック場（職場）でショックに強くなろう！お・・おう！</p>	